

2020 (令和二) 年度 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：宇宙素粒子若手の会 第5回 秋の研究会

英文：YMAP symposium 2020

研究代表者 塚 隆志 (東京大学)

参加研究者 Haochen Yan, 伊藤博士, 中村輝石, 加藤勢, 横澤孝章, 阿部日向, 樋口諒, HEUNGSU SHIN (以上 東京大学), 芦田洋輔 (ウィスコンシン大学), 吉本雅浩 (岐阜大学), 小原脩平 (東北大学), Rosa Mayta Palacios (大阪市立大学), 齊藤亮介, 吉岡翼, 栗栖真乃祐 (以上 信州大学), 鷺見貴生 (国立天文台), Takeshi Maeda, 水越慧太 (以上 神戸大学)
(所属は研究会参加当時のもの)

研究成果概要

本研究会を2020年11月7日, 8日に渡り開催した. 例年通りできるだけ対面での開催できるよう試みたが, COVID-19 感染拡大防止の観点からやむなくオンラインでの開催となった. 参加者全員が原則 zoom による口頭発表を行う方式で, 並行して Slack に資料を共有し, 研究会終了後でも各議題のチャンネルでの議論を行った. ニュートリノ, 宇宙線, 暗黒物質, 重力波など領域を横断して若手研究者が活発に質疑を行うことができた. 宇宙線・素粒子を研究する同年代が交流する良い機会となったものの, 対面式・合宿形式で開催された例年に比べると, やや交流が少なかったように感じられた. 一方でオンラインであるがゆえに海外からの参加も可能となった点は想定外の利点であり, 来年度以降の開催は対面式であってもオンライン配信も並行して実施するなど, 今後の研究会開催・若手交流にあたっての新たなヒントを得ることができた.

(<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/YMAP/event/conf2020/program.html>)



整理番号 F28